

平成30年度 綾川町教育委員会評価

学校教育課評価シート

学校教育課		持続的教育活動を維持・形成を図る					
		主に「もの」に関して					
評価手順	評価項	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4
		Plan		Do	Check		Action
		計画・見通し		実行	振り返り		改善
		内容（目安）	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組
学びの場や機会を保障する環境整備	1 校舎等の整備	<ul style="list-style-type: none"> 校舎修繕 運動場整備等 敷地内整備 	①昭和小学校調理場ドライ化改修工事 ②昭和小学校体育館天井撤去工事 ③綾上中学校体育館天井撤去工事 ④滝宮小学校職員用トイレ改修工事 ⑤昭和小学校正門門扉改修工事	①H30.10.31竣工 工事費98,712,000円 ②H30.9.28竣工 工事費26,805,600円 ③H31.2.28竣工 工事費29,484,000円 ④H30.9.14竣工 工事費7,074,000円 ⑤施工内容再検討（車両動線検討）	①昭和小調理場ドライ化整備 ②昭和小体育館の天井耐震化改修・LED照明整備 ③綾上中体育館の天井耐震化改修・LED照明整備 ※耐震化完了 ④滝宮小職員トイレの整備（洋式化） ⑤施工内容再検討	4	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の学習環境への影響を考慮した工期設定をするとともに、計画的に工事を実施する。 整備計画の事前調査、協議を行う。
	2 教育関連備品等	<ul style="list-style-type: none"> 県の補助金事業「理科教育設備整備費事業」の有効活用 学習環境整備 ICT環境整備 	①小学校（綾上、羽床小） 中学校（綾上、綾南中） ②スライダ－黒板整備事業 ③無線LAN整備事業	①高額な理科教材整備において、補助金を活用し各小中学校の理科教材整備。（顕微鏡、電流装置等）（整備費 約175万円、補助金 87万円） ②町立小学校における児童の学習環境の改善を図るためスライダ－黒板を整備。（昭和小4、陶小4、滝宮小5 計13台） ③町立学校ICT環境整備として、普通教室等でのタブレット端末が使用できるよう、無線LANアクセスポイント（Wifiアンテナ）を整備。（整備数：90台）	①理科の授業において質の高い学習に取り組むことができた。 ②低学年児童において効率のよい授業環境ができた。 ③普通教室でタブレット端末が使用でき、グループ学習などで有効利用できた。	4	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の理科備品の整備については、「理科教育整備事業」を積極的に活用するように指導する。 無線LAN整備におけるICTを活用した学習に努める。
	3 教科書並びに教材等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書需要数・受領数の報告 教科書採択 	<ul style="list-style-type: none"> 31年度需要数と30年度の受領数報告 中学校「特別な教科 道徳」の教科書採択 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校「特別な教科 道徳」の教科書採択及び次年度小学校で使用する教科書の簡易採択に係る事務手続き等を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校「特別な教科 道徳」の教科書採択及び次年度小学校で使用する教科書の簡易採択が完了した。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の実施に向け、小学校・中学校の教科書採択に係る準備を進める。

学校教育課		持続的教育活動を維持・形成を図る						
		主に「もの」に関して						
評価手順	ステップ1		ステップ2		ステップ3		ステップ4	
	Plan		Do		Check		Action	
評価項	計画・見通し		実行		振り返り		改善	
	内容(目安)	方法	取組成果		自己評価	委員評価	課題への取組	
学びの場や機会を保障する環境整備	4	外国語活動、外国語及び英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの計画的な派遣及び有効活用 ・中学校との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラムを利用して安定的なALTの確保(平成29年度より2名に増員) ・中学校英語担当教諭の小学校派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを2中学校、5小学校に計画的に派遣(保育所・こども園・幼稚園にも派遣)する。 ・平成29年度2学期からALTを2名に増員し、小学校の外国語活動の教科化等に向けて対応している。 ・小学校3年生・4年生に年間35時間、5年生・6年生に年間70時間、外国語活動を実施している。 ・3名の県非常勤講師に町費を支出して追加指導を行う。 ・中学校の英語教員が校区内の小学校に派遣され、毎週1時間T2として、5年生・6年生の外国語活動の指導に携わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを2名体制にしたことにより、小学校は毎週1日、綾上中学校は2日、綾南中学校は3日派遣できた。 ・児童生徒がALTとふれあう時間が増え、外国語活動への学習意欲や外国文化への理解を高めることができた。また、中学校教員の小学校派遣により、英語教育の小中連携に深まりが見られる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の指導を担当するALT、小学校の外国語活動を担当する学級担任、中学校英語教員の打ち合わせの仕方等を工夫する。 ・校区内4小学校へ派遣されている綾南中学校の4名の英語教員が、指導内容・方法等で情報共有を深め、指導内容等で格差が生じないように配慮する。
	5	共同調理場調理業務等の民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・調理等民間委託による給食の安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間業者による調理員の確保 ・民間業者のノウハウ活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度より調理及び配送業務の民間委託を実施し、安心安全な給食提供を行っている。 ・学校行事に伴う配送時間変更の対応。 ・食材発注、支払関係、施設維持管理は従来どおり 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理員確保による給食供給の安定 ・民間業者への指導・助言 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校行事に伴う給食提供時間の変更に対応する。 ・栄養教諭及び民間委託業者と連携しながら安心安全な給食を提供する。

学校教育課		自主的活動や「かかわり合い」を重視した活動の推進						
		主に「ひと」に関して						
評価手順	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4		
	Plan		Do	Check		Action		
評価項	計画・見通し		実行	振り返り		改善		
	内容	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組		
人材力を活かす事ができる環境整備	1	保健安全	<ul style="list-style-type: none"> ①健診（就学前児童、職員） ②安全点検 ③日本スポーツ振興センター ④食物アレルギーのある児童生徒への対応 ⑤県費職員のストレスチェック制度実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医、産業医による健診 ・業務委託（消防、遊具） ・保険加入し、治療請求 ・栄養教諭による指導 ・公立学校共済組合に委託してweb上で質問に回答。医師による面接指導や集団分析有り 	<ul style="list-style-type: none"> ①【就学前健診】小学校5校で実施、H30.9～10月 ②毎月の校長会において安全点検の実施を啓発 ③日本スポーツ振興センターへの加入依頼（加入率99.9%） ④町の「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき対応。 ⑤H30.10.15～10.28の間で実施 受験者数は146人中137人（93.8%） 	<ul style="list-style-type: none"> ①【就学前健診】小学校、学校医、保育所、幼稚園と連携し健診を実施した。 ③本年度も1名の未加入者あり ⑤昨年より受験率が上昇した。（H29：86.9%） 	4	<ul style="list-style-type: none"> ①【就学時健診】幼稚園・こども園・保育所との連携を深める必要がある。 【職員健診】健診予定日の変更希望者が多く、日程調整が課題。 ③入学以来1名の未加入者への継続依頼。
	2	職員対象委員会企画研修	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム導入に関する協議会 ・特別支援教育に関する研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム導入に伴う研修会（校務支援、図書） ・特別支援研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・町情報化推進委員会を通じ、ICT機器の活用及び成果の研究（プログラミング教育推進教材の研究） ・プログラミング教育実践公開授業を実施（陶小） ・平成30年度綾川町特別支援教育研修会の開催（対象は若年教員、特別支援教育担当教員、生活支援員） 平成30年11月21日（水）農改センター研修室 ・生活支援員夏季研修会の開催 平成30年7月20日（金）農改センター研修室 ・生活支援員現地研修会 平成31年1月24日（木）附属坂出小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育の必修化に向け、各学校における実践準備が進められた。 ・児童生徒への効果的な指導・支援の進め方等を学ぶことができた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年のプログラミング教育必修化に向け、各学校における取組みを具体化していく。 ・平成31年度も同様の職員研修を企画・立案し、教職員の指導力・資質の更なる向上に努め、本町児童生徒の健やかな成長を促す。
	3	食育関連	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消をめざした食文化の伝承 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の食材を限られた予算内で調整し、安全安心で美味しい給食の提供 ・年1回、うどん研究会の協力のもと、各小中学校で児童生徒がうどん作りを体験。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を積極的に活用し、給食費の範囲内で栄養バランスのとれた献立の実施。 ・月1回の野菜業者との懇談会で、旬の野菜や価格について協議し、献立案を検討。 ・うどんふれあい教室を7校の小中学校で実施。地域の人々とのふれあいや体験を通して食文化を伝える大切さを学習。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭、給食主任、調理員と連携しながら、計画通り実施。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭等の人事異動による引継ぎ ・月1回行っている給食主任会で、給食関係職員と業務の振返りを行い、協議、改善をしていく。
	4	スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・綾上地区1名、綾南地区1名のSSWを配置 昨年度より直接雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校へ年間およそ200回の訪問活動を行う。 ・ケース会への積極的参加により、生徒指導委員会への専門的視点からのアプローチを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より、スクールソーシャルワーカー2名を直接雇用し、綾上地区（綾上小学校、綾上中学校）で183日、綾南地区（昭和・陶・滝宮・羽床小学校、綾南中学校）で193日、それぞれ活動し、保護者、教職員等に対する支援、相談、情報提供や学校内のチーム体制の構築、支援に取り組んだ。 ・年間30回ほどのケース会に参加し、学校における支援について共通認識を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記活動以外に年間8回、それぞれSSWが教育委員会での連絡会を行い、小中学校、教育委員会の連携を図った。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間が9時30分から16時30分の勤務であるが、保護者を交えたケース会等の開催が夜間となることもあり、勤務体制の柔軟な対応をしていく必要がある。 また、児童生徒の支援と同時に教職員との連携を図り、情報確保が重要である。
	5	就学（転入・転出）手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定書交付 ・指定校変更 ・区域外就学 	<ul style="list-style-type: none"> ・住基等に留意し、要件を満たしているか確認。 ・学校、他市町の教育委員会と連携しながら情報共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転入児童生徒の情報を整理し、速やかに学校へ報告。 ・転入、転出時の異動通知書確認および学校指定書の発行。 ・指定校変更、区域外就学申請による協議、承認の手続き。 ・次年度小・中学校入学予定者への入学通知書の送付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区域外就学では複雑な事情が背景にあり、その都度臨機応変に対応していく。 ・転出する児童生徒の情報共有を学校と密にしている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の転出情報を把握したら、迅速に情報提供を図る。 ・法令等に基づき、要件を満たしているか厳格に判定して就学の手続きを進めていく。

学校教育課		自主的活動や「かかわり合い」を重視した活動の推進						
		主に「ひと」に関して						
評価手順	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4		
	Plan		Do	Check		Action		
評価項	計画・見通し		実行	振り返り		改善		
	内容	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組		
人材力を活かす事ができる環境整備	6	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査 県学習状況調査 綾川町学力調査（ベネッセコーポレーションとの契約） QUテスト 	<ul style="list-style-type: none"> 調査の授業改善への生かし方の情報を集め、研修に生かす。 	平成30年度全国学力・学習状況調査 ・平成30年4月17日実施 小学校5校 6年生（206人対象） 中学校2校 3年生（206人対象） （平成31年度実施予定日：平成31年4月16日） 平成30年度香川県学習状況調査 ・小学校 平成30年11月6・7日実施 小学校5校 3～6年生（783人対象） ・中学校平成30年11月12日実施 中学校2校 1～2年生（373人対象） 平成30年度町学力調査（ベネッセコーポレーション） ・小学校 平成30年11月6・7日実施 小学校5校 1～2年生（332人対象） ・中学校 平成30年4月17日実施 中学校2校 1～2年生（363人）	<ul style="list-style-type: none"> 実施要領に基づき厳正に事務処理を行った。 県学習状況調査については、結果入力を業務委託形式で実施した。 各種調査結果を分析し、成果と課題を明らかにした。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査、香川県学習状況調査、町学力調査の結果を分析し、本町の児童生徒の学習面の成果や課題等を明確にし、次年度の綾川町教育委員会の施策や教育方針、「要請による学校指導訪問」の際の町教委指導事項等に反映させる。 校長会等の機会を利用し、調査結果から明らかになった学習面での課題解消につながる指導・支援等を行う。
	7	就学支援	①就学援助 ②学習意欲向上支援	①就学援助制度の広報 就学援助手続き ②ステップアップ勉強会	①各学校より保護者に制度を周知 申請数件（～H30.12） ②夏休み6日間開催（生徒7名、講師2名）	①チラシを改訂した。 申請を適正に処理した。 ②塾へ行っていない参加者の学習意欲の向上が図られた。	4	①学校事務の方との連携を強化する必要がある。小・中・教委で連絡を取り合い、スムーズに事務を行いたい。 ②講師の確保において、複数大学への募集等の検討を行う。

学校教育課		関係機関と連携して基本的習慣形成を図る 主に「こと」に関して						
		ステップ1		ステップ2		ステップ3		ステップ4
評価手順	評価項	Plan		Do		Check		Action
		計画・見通し		実行		振り返り		改善
		内容(目安)	方法	取組成果		自己評価	委員評価	課題への取組
児童生徒の自律を促すための環境整備	1 教育方針	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町の教育方針の提案と管内学校との共有 	<ul style="list-style-type: none"> 校長会で提案し、校種を超えて様々な視点から意見をいただき、構成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町一貫性教育研究会や「要請による学校指導訪問」等、具体的な場面を通して指導・支援を行う。 各学校の要請に応じて教育アドバイザー（2名）を派遣し、教職員の指導力・資質の向上を促す。 		<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度綾川町の教育方針に基づいて、各校の教育活動・実践等への指導・支援を行った。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町の教育方針を全教職員に浸透させるとともに、ベテラン教員の指導力・資質の若年教員への継承を促す機会や場等を検討する。
	2 学校との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 毎月報告される問題行動調査【月別報告】 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導に関する情報を共有し、現状の把握と課題解決策の模索を協議しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度月別問題行動等調査報告を提出する。(必要に応じて聞き取り) 西部教育事務所生徒指導担当指導主事と情報共有(毎月聞き取り対応)し、必要に応じて指導・助言を受ける。 毎月の校長会で生徒指導等に関する留意事項等について指導・助言を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事や身近な具体的事例を踏まえて、課題解決につながる指導・支援を行った。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例を通して、教職員の危機管理意識や人権感覚を磨き高める必要がある。
	3 高松西警察署、西部女性子どもセンター、町健康福祉課等の関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 虐待事案、非行事案の情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課所管少年育成センター主催の少年補導連絡会(学期に1回のペース)において学校の現状に係る情報を共有し、解決策を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会、健康福祉課、子育て支援課、西部子どもセンター、SSW等と児童生徒のケース会(要保護児童対策地域協議会)を実施し、相互に情報共有を図りながら、具体的な支援の在り方を共通理解し、指導・支援に生かす。 少年育成センター、高松西警察署、各学校の生徒指導担当者(生徒指導主事)、町教委等による少年補導連絡協議会(年3回)を通して、情報共有を図りながら問題解決に向けた具体的な取組について意見交換をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待や非行問題等について、関係機関相互の情報連携や担当者の意識の面で深まりや高まりが見られた。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 増加する児童虐待事案を真摯に受け止め、児童虐待防止における学校・教職員の責務の重要性や具体的な対応等を再確認する必要がある。
	4 「綾川町幼児教育共通プラン」を活用した保育所・幼稚園・小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 共通プランを保育、幼児教育の拠り所とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 活用状況の把握と、活用の具体事例を集め、共通プランの見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「綾川町幼児教育共通プラン」の活用状況を把握する。 保育所・幼稚園と小学校との連携に関わる内容を見直し、「綾川町幼児教育共通プラン」の実効性を高める。そのために、各小学校から1名の検討委員を選出する。 		<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会を2回開催し、「綾川町幼児教育共通プラン」を一部修正・加筆した。スタートカリキュラム(案)を新たに追加し、実効性を高めた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に改訂版を各学校に配付するとともに、綾川町一貫性教育研究会総会等の機会をとらえ、「綾川町幼児教育共通プラン」の有効活用等について啓発する。

学校教育課		関係機関と連携して基本的習慣形成を図る						
		主に「こと」に関して						
評価手順	ステップ1		ステップ2		ステップ3		ステップ4	
	Plan		Do		Check		Action	
	計画・見通し		実行		振り返り		改善	
	評価項		内容(目安)	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組
児童生徒の自律を促すための環境整備	5	基本的な生活習慣の定着のための学校と家庭の連携	<ul style="list-style-type: none"> 今年度校長会で案内した情報モラル（Netモラル）研修会等の活用及び「早寝早起き朝ごはん」運動の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員のパソコンにインストールされている指導教材を活用するとともに、児童生徒対象の研修会を実施する。また、以前より継続指導している「早寝早起き朝ごはん」についても動画等を活用するなど県の方針に寄り添って指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンを介したSNSのトラブルから児童生徒を守るため、児童生徒対象の講演会、保護者対象の講演会を実施する。 毎月の校長会でネット犯罪の具体的事例等に関する情報を提供し、各学校での児童生徒への指導・支援への有効活用を促す。 教育的価値が高い動画を日常の授業に活用できるように、学校から要望等を踏まえてブロックを解除する。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会等、年度当初の保護者が集まる場等でネット犯罪等に関する注意喚起を実施するよう依頼した。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ネット犯罪やゲーム依存の弊害を防ぐためには、保護者啓発は不可欠である。 ネット犯罪から身を守るためには、家庭でのルールづくりや児童会・生徒会における自治活動の更なる推進も必要である。
	6	学校関係者評価の活用を取り入れた教育活動の連携	<ul style="list-style-type: none"> 各校の学校評価委員の協力による学校評価書の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の実態に応じた評価項目を分析し、綾川町の教育方針の具体事例を次年度に生かす事ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員会を年間3回前後開催し、学校ごとに設定された重点目標に基づく教育活動の達成状況や取り組みの適切さを評価し、組織的、継続的に学校経営・学校運営の改善に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員から出された意見等は、学校経営・学校運営の工夫・改善に役立った。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の学校評価や教育委員会評価を踏まえて次年度以降の学校の教育活動や教育委員会の具体的事業等に反映させる。

生涯学習課評価シート

生涯学習課		持続可能な生涯学習を支援する補助事業					
		主に「もの」に関して					
評価手順	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	
	Plan		Do	Check		Action	
評価項	計画・見通し		実行	振り返り		改善	
	内容(目安)	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組	
主体性を発揮できる環境整備に関する補助等	1	図書館管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 図書館指定管理業務委託 図書館管理運営 問題点の協議検討 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の定例会において、管理運営に関する協議を実施。 来館者数、貸出人数、貸出冊数は前年度より増加。またレファレンス数もサービスの充実により増加。 新たな広報活動の一つとして「Facrbok」ページを開設し、様々な情報を発信。 「図書館を使った調べる学習コンクール」へは119作品の応募があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館に訪れたいくなる事業や、本を読んでもたくなる事業など「きっかけ」を作る事業の実施により利用者が増加している。 「Facebook」による情報発信は頻度や内容など改善していく必要がある。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の定例会での協議に限らず、日頃から情報交換等を行い、管理運営にあたる。 各種媒体を有効に活用しながら図書館の情報発信を行い、多くの方に利用してもらえる施設となるよう取り組む。 各世代にあわせた事業を展開していく。
	2	自治公民館・集会所施設等整備補助	<ul style="list-style-type: none"> 施設改修、備品購入、駐車場整備、耐震診断、耐震工事等補助金交付 左記事業に対し審査等を行い、2分の1以内～3分の2の補助を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設修繕 2件(予定) 備品整備 1件(予定) 駐車場整備 1件(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 前年より件数及び金額は減少しているものの、施設の老朽化に伴い要望は高い。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 施設を長く安全に使用できるよう計画的に実施するよう周知するとともに、今後も自治公民館・集会所が地域活動の拠点となるよう、適正な維持管理に向けて推進する。
	3	自治公民館連絡協議会・モデル自治公民館補助	<ul style="list-style-type: none"> 連絡協議会活動補助金及び自治公民館活動補助金の交付 生涯学習モデル自治公民館に補助金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡協議会及び各自治公民館等の地域活動に対し補助金を交付 積極的な活動を行っているモデル的な自治公民館等(最大20館)に対し、5万円の補助金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡協議会による先進地視察(高知市 土佐山地域公民館連絡協議会の取組)及びリーダー養成研修会(事例発表等)を実施 モデル交付予定 19館(前年20館) 	<ul style="list-style-type: none"> 先進地視察及びリーダー養成研修会とも参加者数はほぼ横ばいで、参加していない自治公民館・集会所も多い。 モデル事業については1館減の19館を指定したが、過去に指定した館が復帰するケースはあるが、新規の申請はなかった。 	4

生涯学習課		住民の多様な学習ニーズに対応できる生涯学習施策の充実（施策内容）						
		主に「ひと」に関して						
評価手順	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4		
	Plan		Do	Check		Action		
	計画・見通し		実行	振り返り		改善		
	内容（目安）	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組		
人材育成を主眼にした環境整備と環境設定	1	生涯学習講座	<ul style="list-style-type: none"> 地区公民館等で講座を実施(15講座) 	<ul style="list-style-type: none"> 講座内容等の検討を行い、5月に受講生を募集し、6月から講座を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全15講座を実施 新規講座として、みそづくり、クラフトバンド手芸、紅茶の淹れ方等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 定員を上回り抽選となる人気講座もあったが、定番の講座で定員を下回るものもあった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 定員に満たない講座の内容について検討を行い、新規講座の実施等を図りながら、受講生の増加に取り組む。
	2	文化芸術関係事業	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会団体交流活動補助金の交付 文化行事開催 さぬき映画祭 	<ul style="list-style-type: none"> 協会内の団体会員間で行事を行った場合に経費を補助金として交付 11月第4日曜日に本物の芸術に触れる機会として文化事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会内の補助金制度を見直し、グループ活動に対しての補助から会員相互の活動に対する補助へと変更し、補助金を交付。 11月25日（日）文化協会主催事業「植松おさみ講演会」を実施。来場者数164人。 さぬき映画祭とやまなみ芸術祭2019に対して補助金を交付。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会内の団体会員間の交流活動は活発な活動があった。しかし実施していない団体もあった。 文化事業は昨年度と比較し大幅に来場者数が減少。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会会員同士の活動の幅を広げるため、補助金を有効に活用してもらえるよう取り組む。 文化事業は引続き町民の文化意識の向上を図れる内容を検討していく。
	3	青少年教育事業	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに主に地区公民館で子ども教室を実施 子ども会育成事業 	<ul style="list-style-type: none"> 地区公民館等で、体験活動等の教室を実施。教室によっては、午前の部・午後の部などを設け、また、親子で参加できるようにするなどし、多くの児童が参加できるようにする。 子ども会リーダーキャンプ 子ども会ドッジボール大会 育成者研修会等 児童生徒の作品展示事業 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども教室16教室を夏休みに開催。今年度もたくさんの申込みがあった。親子で参加できる教室や午前と午後の2回実施のものもあり、好評であった。 子ども会事業12月2日に町ドッジボール大会を実施。（羽床校区により運営） 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども教室は、多くの教室で定員を超える応募があり、特に工作に関する教室は人気があった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども教室について、内容・実施方法等の検討を行い、多くの児童が参加できるようにしていく。

生涯学習課		住民の多様な学習ニーズに対応できる生涯学習施策の充実（施策内容）						
		主に「ひと」に関して						
評価手順	評価項	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	
		Plan		Do	Check		Action	
		計画・見通し		実行	振り返り		改善	
		内容（目安）	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組	
人材育成を主眼にした環境整備と環境設定	4	成人式	<ul style="list-style-type: none"> 1月3日に綾南改善センター開催 	10時より開式、式典・記念行事・記念撮影を行う。午前中で終了。	1月3日（木）午前10時から開催。参加者数190名。記念行事は、記念ビデオ上映と、大学で声楽を学ぶ新成人によるミニコンサートを実施。	<ul style="list-style-type: none"> 大きな混乱もなく、二十歳の門出にふさわしい式典開催することができた。 会場とは別の部屋で式典の映像中継を実施し、多数の新成人の家族等が来場。 	5	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、二十歳の門出にふさわしい式典を開催できるよう努める。
	5	婦人学級	<ul style="list-style-type: none"> 中央婦人学級の開催 各地区公民館での婦人学級の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 中央婦人学級は年間4～5回程度開催。 各地区婦人学級では、県事業である「くらしのセミナー」の活用等、生活に密着した内容で、講師を招いて研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央婦人学級 県警による特殊詐欺についての講演の実施。また、鳥取方面への一日研修（サントリーの工場見学）、テーブルマナーの研修、防災学習会の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺や防災学習など日常生活に必要、また役立つ内容の研修を行った。 参加者の意見をもとに内容を決定した。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応等の学級生が日常生活で役立つ、また、安心安全の社会を築く意識の高揚を図れる内容の学習活動を行う。
	6	高齢者学級	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館での高齢者学級の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材や「くらしのセミナー」の講師を活用し、身近な内容の学習の機会を設ける 高齢者学級生の作文集「生きがい」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館で、月1回程度60歳以上の方を対象に学級を開催。 年1回バスを利用して社会見学を実施。 学級生の作文集「生きがい」を発行。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級生からの要望をもとに、生活に役立つ、身近な内容の研修を行った。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、日常生活に生かせるよう身近な内容の学習活動を行う。

生涯学習課		地域づくり、健康づくりを目指した地域活動、スポーツ活動の推進（事業内容）							
		主に「こと」に関して							
評価手順		ステップ1		ステップ2		ステップ3		ステップ4	
		Plan		Do		Check		Action	
評価項		計画・見通し		実行		振り返り		改善	
		内容（目安）	方法	取組成果		自己評価	委員評価	課題への取組	
事業企画運営	1	総合運動公園管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 全天候型陸上競技場 アリーナ 2Fホール ミーティングルーム テニスコート 多目的グラウンド イベント広場 	<ul style="list-style-type: none"> 一般に無料または有料で施設開放 施設の維持管理 年間利用者数 名 	<ul style="list-style-type: none"> テニスコート防風ネット修繕 多目的ホール照明取替修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 良好な競技環境を維持するため適切な維持管理に努めた。 園内での事故防止のため、利用者への注意喚起を行った。 	3	経年劣化による施設・器具等の修繕・更新を適期に行い、利用者の利便性の向上と安全性の確保を図る。	
	2	ふれあい運動公園管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 野球場 アリーナ 武道場 プール 多目的広場 	<ul style="list-style-type: none"> 一般に無料または有料で施設開放 施設の維持管理 年間利用者数 名 	<ul style="list-style-type: none"> 海洋センターロビー天井扇風機取付工事 野球場本部席空調機器設置 海洋センターシャワー水栓取替工事 野球場トイレ改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利便性が上がるよう努めた。また、熱中症予防の助けになる工事が出た。 	3	時代の流れに合わせて、よりよい施設になるよう改修すべき点を把握し、実行していく。	
	3	体育協会・スポーツ少年団等補助事業	<ul style="list-style-type: none"> 体育協会、スポーツ少年団補助金交付 	<ul style="list-style-type: none"> 団体の活動支援、大会結果等の広報掲載 大会参加者 会員数等 	<ul style="list-style-type: none"> 体育協会 18団体、1,223名（1団体減、会員27名減） スポーツ少年団 14単位団、363名（2単位団増、団員14名増） 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の競技力の向上はもとより体力の向上に繋げている。 	3	より多くの方が団体にて、スポーツを楽しめるよう図る。競技力の向上を目指すだけでなく、健全育成、健康増進のためのスポーツを担えるよう図る。	
	4	生涯スポーツ関係事業	<ul style="list-style-type: none"> オールナイトソフトボール大会開催 アジャタ大会開催 綱引大会開催 ジョギング大会開催 スポーツ教室開催 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会及び入会教室の実施 オールナイト 募集 アジャタ 募集 綱引 募集 ジョギング 募集 教室 	<ul style="list-style-type: none"> オールナイトソフトボール大会 5/12～13（土～日）ふれあい運動公園 30チーム、344名参加（2チーム増） アジャタ大会 6/25（日）総合運動公園 一般の部16チーム、レディースの部15チーム、シニアの部1チーム、ジュニアの部6チーム、計218名参加（14チーム増） 町民綱引大会 2/24（日）総合運動公園（開催予定） 大人56チーム、子ども14チームの参加予定（8チーム減） ジョギング大会 3/24（日）総合運動公園（開催予定） 教室（テニス、キッズヨガ） テニス教室（春季116名、冬季51名） キッズヨガ（3月開催予定） 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より開催したアジャタ大会は参加者が増加したが、その他大会は横ばい傾向にある。 新規で教室を三回開催し、子どもがスポーツに触れる機会を増やすよう努めた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の観点からオールナイトソフトボール大会を廃止し、同種目の大会を時間帯を変えて開催する。 運動する習慣がない人でも気軽に参加できる大会を目指す。 定着している大会も、より多くの方が参加いただけるよう、内容等を検討する。 スポーツ教室のメニューを増やし、内容等も多くの人に興味を持っていただけるよう検討する。 	
	5	幼児体操教室開催事業	<ul style="list-style-type: none"> 幼児（4・5歳児）を対象とした体操、水泳教室 	<ul style="list-style-type: none"> B&G綾上海洋センターで開催。（5月～12月） 水曜日と金曜日の2クラス（定員35名）指導者1人とアシスタント2人により実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 5月～12月、B&G海洋センターで開催。水曜日・金曜日の各クラスとも定員である35名で実施。 受講生の決定を抽選方式にした。 	<ul style="list-style-type: none"> 例年通り、好評である。 抽選方式にした事により、公平性を高めることができた。 	4	受講生にとって、プラスになることは積極的に取り入れていく。	

生涯学習課		地域づくり、健康づくりを目指した地域活動、スポーツ活動の推進（事業内容）						
		主に「こと」に関して						
評価手順	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4		
	Plan		Do	Check		Action		
評価項	計画・見通し		実行	振り返り		改善		
	内容（目安）	方法	取組成果	自己評価	委員評価	課題への取組		
事業企画運営	6	青少年の健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 少年育成センター 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援教室 名 育成補導員 32名 補導活動 各種キャンペーン パンフレット作成 各種団体への自動車用マグネットの配布、見守り協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引続きイオン綾川において「万引き防止キャンペーン」を実施した。 「育成だより」を年2回発行し、全戸配布した。 四国地区少年補導センター連絡協議会定期大会がさぬき市で開催され、3名が参加した。 学校、警察、教育委員会、少年育成センターで、補導連絡会を3回行い、情報交換をした。 補導員による補導活動を定期的に実施。 「こども見守り隊」の啓発用の自動車マグネットシートを新たに陶病院、老健あやがわなどに配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察、学校、育成センターによる育成補導連絡会で有意義な情報交換ができた。 町内の危険箇所に注意を促す表示をした。 「こども見守り隊」の自動車マグネットシートはおやじの会・公用車等を中心に活用している。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 「こども見守り隊」活動を拡大するとともに、補導活動を拡充し、青少年の見守り活動の充実を図る。
	7	人権・同和教育事業	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット作成 広報誌に掲載 社会教育関係団体等の会合のなかでの人権・同和研修の実施 企業同和研修会の実施 人権・同和教育研究大会、研修会等への参加 児童生徒の人権作品の展示 	<ul style="list-style-type: none"> 坂出市、宇多津町、綾川町の共同で「人権・同和教育だより」作成し、全戸配布した。 広報あやがわに「人権・同和教育だより」を毎月掲載。 四国地区人権教育研究大会（高松市）、全国人権・同和教育研究大会（滋賀県）が開催され参加した。 上記全国大会に、小中学校、教育委員会事務局から10名が参加した。 児童・生徒の人権啓発作品を、坂出市人権展覧会に出展し、人権週間に合わせて生涯学習センターで展示した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き広報活動を行なった。 人権啓発作品の掲示による啓発活動を行った。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育活動において、関係機関、関係団体と協議して、研修をはじめとする学習機会を増やし、啓発活動を推進していく。
	8	文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財発掘、資料整理業務 開発事業の文化財保護指導 文化財保護調査 文化財保護協会 	<ul style="list-style-type: none"> 香川県指定史跡現況調査 香川県指定史跡現況調査 県営農業競争力強化農地基盤整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査 文化財保存、調査 文化財臨地研修 文化財企画展示事業 滝宮の念仏踊 	<ul style="list-style-type: none"> 香川県指定史跡現況調査「ますえ畑瓦窯跡」の確認調査を実施。 県営農業競争力強化農地基盤整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査「小野白石遺跡」の発掘調査（記録保存調査）を実施。 文化財保存、調査陶地区「西村遺跡」で開発に伴う立会調査を実施。 文化財保護協会会員数67名。10月25日（木）広島県福山市にて臨地研修を実施。参加者34名。 文化財企画展示香川県埋蔵文化財センターと共催で「讃岐国府展9」をパネル展として開催。 滝宮の念仏踊保存会に対し補助金を交付。5年に1度の総踊りによる奉納。表彰：功労者表彰9名 感謝状授与9名 	<ul style="list-style-type: none"> 小野白石遺跡発掘調査では建物跡等の遺構を検出。また土器類が多く出土した。 企画展示はパネル展の実施のみにとどまり、実物を展示することができなかった。 滝宮の念仏踊では総踊りの年にあわせて功労者表彰を実施したが、保存会から表彰基準を見直す必要があるとの意見があった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 県営農業競争力強化農地基盤整備事業に伴う埋蔵文化財調査は次年度も予定されており、引き続き適正な保護に努める。 企画展示は町民が郷土の歴史に興味をもってもらえるきっかけとなるものを検討し、実施していく。